

2021年8月11日

各位

東京ウイスキー&スピリッツコンペティション 2022 焼酎部門開催のお知らせ

2021年8月11日、ウイスキー文化研究所は「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション 2022 (TWSC2022)」を開催することを発表いたします。TWSCは2019年が初開催であり、コロナウイルスの影響下でも第3回までを無事に審査し、結果発表に至ることができました。主催はTWSC実行委員会、企画・運営はウイスキー文化研究所で、焼酎部門はTWSC2020にて創設され今回のTWSC2022にて3回目の開催となります。

- ・アジア最大級、日本唯一の洋酒と焼酎の品評会が第4回を迎える
- ・洋酒の専門家が焼酎の審査することで、海外展開の指標に
- ・連続式蒸留焼酎（焼酎甲類）エントリー受付開始
- ・出品者への新サービス開始 / 審査コメントのフィードバックの拡充



東京ウイスキー&スピリッツコンペティション (TWSC) とは

○アジア最大級・日本唯一

日本唯一のウイスキー、スピリッツ、焼酎の品評会で、その規模はアジア最大級です。
(TWSC2021実績) 出品数 699本/ウイスキー226本、スピリッツ 218本、焼酎 255本

○全国の専門家 280名以上

ウイスキー文化研究所設立から20年かけて培った信頼関係で、全国の専門家280名以上に審査員として協力をいただいています。バーテンダーやメーカー、インポーターの他、ウイスキーコニサー資格を所持した方々も数多く参加しています。焼酎部門の審査員は80名で、焼酎の専門家も審査チームに加わっております。

○ブラインドテイस्टィングで審査

ブラインドテイस्टィングにて審査することで、余計な情報に左右されずにボトルに真剣に向き合ってください。多くのスタンダード品が高い評価を受けています。

○焼酎を洋酒の専門家が審査

焼酎部門では、洋酒と焼酎の専門家を交えた特別チームが審査を行っており、既存の評価とは異なる軸で焼酎を評価します。洋酒の専門家の味覚は欧米の消費者と共通する部分が多く、海外展開に際し、TWSCの結果が一つの指標となると信じています。

○新規顧客の開拓へ

TWSC は焼酎の魅力を様々な形で洋酒愛好家や日本国外へと発信します。ガイドブックの発行、セミナーやテイastingパーティー開催の他、専門誌『ウイスキーガロア』や海外向け情報発信サイト「nomunication.jp」との連携なども行っております。

TWSC の取り組み

○【NEW】連続式蒸留焼酎（焼酎甲類）エントリー受付

TWSC2022 では、新たに連続式蒸留焼酎のエントリー受付も開始いたします。審査にあたっては、別途審査基準を設けた上で、特別チームを編成いたします。

○【NEW】早期出品割引導入

9月1日～30日を早期出品割引期間とし、期間内のエントリーに対しては出品エントリー料金より5%の割引をいたします。

○【NEW】1本からエントリーが可能に

720ml以上の場合は出品エントリー時の送付ボトルを1本にて受付けます。一方で事故や天災等のリスク回避のため、出品者には別途予備のボトルを確保していただきます。

○【PICK UP】出品者への審査コメントフィードバック

昨年度、試験的に導入した新サービスで、審査員から収集したテイastingコメントを事務局にて整理、抜粋した上で、出品者へフィードバックするものです。これは受賞の有無にかかわらず、全ての出品アイテムについて無料で提供いたします。2年目となる今年は、フィードバックするコメントを増やし、また、さらなるご要望に対応できるよう、サービスの拡充に努めてまいります。

※詳細は、事務局にお問い合わせいただくか、出品の手引き（8月16日公開予定）をご参照ください。

開催スケジュール

- ・出品エントリー期間 : 2021年9月1日（水）～12月15日（水）
- ・一次審査（リモート審査）: 2022年1月中旬～2月中旬
- ・二次審査（審査会） : 2022年3月上旬、都内にて開催予定
- ・結果発表 : 2022年5月頃
- ・授賞式 : 2022年5月末または6月上旬

審査方法（焼酎部門）

○一次審査 [リモート審査]

評価を依頼する出品ボトルを小瓶分けしたものと、指定のテイastingグラスなどを一式として梱包し、各審査員宛に送付します。このとき、1人の審査員に担当いただくボトルは30～40アイテム。1アイテムに対しては10名程度が審査します。

審査員はブラインドテイastingにて審査を行い、①アロマ②フレーバー③総合の3つの観点から100点満点で評価を行います。

○二次審査 [審査会]

審査会形式は、東京の会場に全国各地から審査員を招聘して行うものです。二次審査では、一次審査の上位アイテムが審査対象となります。1テーブルにつき8名程が同時にブラインドテイastingを行い、一次審査と同様に100点満点で採点します。

○審査基準について

審査員は事前に解説動画を見ながら共通のサンプルをテイastingし、審査基準のすり合わせを行います。また、この解説動画はWEB上で公開されており、どなたでも閲覧できるようにしております。

TWSCでは採点基準や採点方法を、ガイドブックやウイスキーガロア誌上で公開し、透明性の高い公正な審査を行っております。

出品エントリーについて（焼酎部門）

出品対象	単式蒸留焼酎（本格焼酎、泡盛）および連続式蒸留焼酎（焼酎甲類） ※国内国外問わず、市場にて販売しているものに限る ※スピリッツ、リキュール表記のボトルは洋酒部門にて審査。
出品エントリー期間	2021年9月1日（水）～12月15日（水）
早期出品割引期間	2021年9月1日（水）～9月30日（木）
出品エントリー料金	1アイテムあたり22,000円（税込）
早期出品割引	5%引き
出品時送付ボトル数	720ml以上：1本 / 500ml：2本 / 300ml／3本 ※出品者の手元にて予備のボトルの確保・保管をお願いします。事故等が無ければ、1本のみ送付で審査となります。
出品エントリー方法	TWSC公式HPより、「出品エントリーシート」をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールにてご提出ください。出品エントリーシートの確認後、エントリー料のご入金と出品ボトルのご送付をもって出品エントリー手続きが完了となります。

ウイスキー文化研究所

ウイスキー文化研究所は、ウイスキー評論家の土屋守が代表を務める愛好家団体で、世界中のウイスキーの情報発信を行っています。2001年3月の発足以来、ウイスキー専門誌「Whisky Galore」の発行をはじめ、「ウイスキーフェスティバル」や「コニサー資格認定制度」、「ウイスキー検定」など様々な取り組みを行っています。(HP:<https://scotchclub.org/>)

TWSC 実行委員長／ウイスキー文化研究所代表 土屋守プロフィール

1954年新潟県佐渡生まれ。1987年から1993年の駐英取材経験を基にウイスキージャーナリストとして活動し、1998年にはハイランド・ディスティラーズ社より「世界のウイスキーライター5人」の1人として選ばれる。帰国後にウイスキー文化研究所（当時はスコッチ文化研究所）を立ち上げ、各地での講演や執筆活動、ウイスキーコニサー試験、ウイスキーフェスティバル、ウイスキー検定の企画運営、そしてウイスキー専門誌の発行などを通じて、日本にウイスキーとその文化を広めるため精力的に活動している。2014年放送開始のNHK連続テレビ小説「マッサン」ではウイスキー考証として監修を務めた。

『完全版シングルモルトウイスキー大全』、『ブレンデッドウイスキー大全』（小学館）、『竹鶴政孝とウイスキー』（東京書籍）、『ビジネス教養としてのウイスキー なぜ今、高級ウイスキーが2億円で売れるのか』（KADOKAWA）、『人生を豊かにしたい人のためのウイスキー』（マイナビ出版）など著書多数。隔月刊誌『Whisky Galore』の編集長を務める。

お問い合わせ先

ウイスキー文化研究所 TWSC 事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-23-6 長谷部第10ビル2階

TEL : 03-6277-4103 / Fax : 03-3445-6229 / E-MAIL : twsc@scotchclub.org

HP : <http://tokyowhiskyspiritscompetition.jp/>
